2025年5月29日

空自奈良基地は展示飛行の中止を求めます。

滋賀県知事 三日月大造 様

日本共産党滋賀県委員会
日本共産党滋賀県議団

航空自衛隊奈良基地が28日13時50分～14時45分、5月31日開催の「航空自衛隊創設71周年奈良基地祭」の事前訓練飛行を実施し、彦根市、近江八幡市、野洲市、守山市、草津市、大津市などの県内上空を、高度400～1300メートルの低空で飛行。突然のジェット戦闘機などの轟音に、周辺住民からは「下校時の子どもが怖がっている」「戦争でも起こったのか。怖い」「密集住宅地で事故が起きれば大惨事になる」など、不安と抗議の声が上がりました。

展示飛行はジェット戦闘機などを使用するもので、同基地によると、飛行訓練したのは、戦術輸送機C130Hハーキュリーズ1機、F15J戦闘機2機。C130H1機は、航空レーダーや県内外の監視団体の情報から、市街地上空を4回も巡回したことが判明しました。

この間、自衛隊機の墜落事故が相次いでいます。昨年と同基地祭で展示飛行したT4練習機の同型機は今年14日、愛知県で墜落し、同基地広報は「T4練習機は事故により飛行を見合わせている」と言います。しかし、事故の原因究明は途上です。学校や保育園をはじめとした市街地上空での低空飛行訓練や展示飛行を行うことは極めて危険であり、断じて許せません。爆音被害と合わせて住民の不安と批判はこれまで以上に強まっています。県民の安全を守る立場から、航空自衛隊奈良基地に対し、飛行訓練の中止、「基地祭」での展示飛行の中止を求めるよう要請します。

以上